

教育委員会の点検・評価報告書

(令和4年度事業分)

令和5年8月

対馬市教育委員会

◇目 次◇

教育委員会の自己点検・評価について	5
-------------------	---

学識経験者の所見	6
----------	---

第1 教育委員会の活動及び管理執行事務

1. 教育委員会及び教育委員の活動

(1) 教育委員会会議の運営改善	1 2
(2) 教育委員会と事務局との連携	1 2
(3) 教育委員会と市長との連携	1 2
(4) 教育機関等との連携	1 2
(5) 教育委員の自己研鑽	1 2

2. 教育委員会が管理又は執行する事務（教育長に委任できない事務）

(1) 教育行政の基本方針に関する事	1 3
(2) 学校その他の教育機関の設置及び廃止に関する事	1 3
(3) 予算その他の議会の議決を経るべき議案に関する事	1 3
(4) 教育委員会規則の制定又は改廃に関する事	1 3
(5) 学童児童及び生徒の就学すべき学区の設定又は変更をすること	1 3
(6) 県費負担教職員の懲戒及び県費負担教職員の管理職任用その他 進退について県教育委員会に内申すること	1 3
(7) 教育委員会の附属機関の委員の任免を行うこと	1 3
(8) 教科用図書の採択に関する事	1 4
(9) 教育委員会表彰を行うこと	1 4
(10) 文化財の指定又は解除に関する事	1 4
(11) 教育部長、理事、次長、本庁の課長及び指導主事の任免その他 の人事に関する事	1 4
(12) 人事の基本方針を定めること	1 4
(13) 県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること	1 4
(14) 教育委員会の附属機関に対し諮問を行うこと	1 4

第2 教育委員会事務局の執行事務（教育委員会から教育長に委任される事務）

【郷土を知り、愛し、未来につなぐ学びの充実】

教育総務課

◎安全・安心な教育環境の整備・充実

1. 小・中学校施設の整備

- (1) 快適な学習環境づくり 15
- (2) 児童・生徒の安全対策 15

2. 学校施設の適正配置の促進

- (1) 第2次統合計画の促進 16
- (2) 島っこ留学の促進 16

学校教育課

◎確かな学力・豊かな心を育てる学校教育の推進

◎国際化に対応できる教育の推進

1. 対馬を支える人材の育成

- (1) ふるさと教育の充実 17
- (2) 国際理解・外国語教育の充実 17

2. 個々の学びの充実

- (1) 学力向上対策 17
- (2) 特別支援教育の推進 18
- (3) ICT教育の推進 19

3. 自己実現を目指す子供の育成

- (1) 生徒指導の充実 19
- (2) 道徳教育の推進 20
- (3) 人権・平和教育の推進 20

4. 健やかな体を持つ子供の育成

- (1) 体力向上対策 20
- (2) 健康教育の推進 20
- (3) 食育と学校給食の充実 21

5. ICTを活用した教育の充実

- (1) 端末活用の促進 21

6. その他

(1) 経年研修の実施	2 2
(2) 管理職員研修の実施	2 2
(3) 学校訪問	2 3
(4) 幼稚園・こども園教育の充実	2 4

生涯学習課

◎一人一人が生きがいを持ち、地域づくりにつながる生涯学習の推進

◎心身の健康と活力を育てるスポーツの振興

◎お互いの心と命を思いやる人権教育の推進

1. 生涯学習を推進するための体制づくり

(1) 各機関や社会教育団体との連携体制づくり	2 5
(2) 各社会教育団体への支援	2 5
(3) 社会教育施設の整備・充実	2 5

2. 郷土を愛する『つしまっ子』の育成

(1) 地域の人材や資源を活用した体験学習機会の充実	2 6
(2) 地域が一体となった青少年健全育成の推進	2 7

3. 偏見のない明るい社会づくり

(1) 市民の人権意識を高める機会の充実	2 8
(2) 啓発活動の実施	2 8

4. 心を潤す芸術文化活動の推進

(1) 芸術文化活動の発表機会の場づくり	2 9
(2) 本物の芸術・文化に触れる機会の提供	2 9

5. ゆとりある生涯学習の場 公民館づくり

(1) 幅広いニーズに応じた公民館講座の開設	3 0
(2) 対馬の文化・魅力を活かした公民館講座の開設	3 0

6. 情報発信拠点としての図書館づくり

(1) 図書館資料の充実	3 1
(2) 市民の読書活動の推進	3 1

7. 生涯・競技スポーツの普及振興

(1) 生涯スポーツの普及・振興のための啓発活動の実施	3 1
(2) 競技力向上のための支援の充実	3 2
(3) 体育施設の整備及び有効活用	3 3

文化財課

◎文化遺産の保護と活用の推進

1. 指定文化財等の保存整備

- (1) 史跡・名勝の整備推進 34
- (2) 重要文化財等の適正な管理保存 34

2. 天然記念物の保護

- (1) 天然記念物の適正な保存・保護 34
- (2) 関係団体等との連携強化 34

3. 市内遺跡の調査・保全

- (1) 計画的な調査の推進 35
- (2) 適正な調査体制の確立 35
- (3) 無許可開発行為等の防止対策 35

4. 民俗文化財の調査・記録保存

- (1) 有形民俗文化財の適正な管理・保管 35
- (2) 無形民俗文化財の伝承保護、調査 35

5. 文化財の活用

- (1) 文化財PRイベントの実施 35
- (2) 子どもたちの郷土学習への寄与 36
- (3) 情報発信の強化 36

教育委員会の自己点検・評価について

教育委員会の責任体制の明確化を図るため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、「教育委員会は、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用し、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表しなければならない。」とされています。

本市教育委員会は、対馬市教育方針を柱とし、対馬市総合計画並びに対馬市教育振興基本計画に基づいて、本市の教育施策を総合的かつ計画的に推進するため、各施策を実施してまいりました。

各施策の具体的な事務事業を推進するに当たり、効率的・有効的に実施できているか自己点検及び評価を行い、その報告書を作成いたしました。

また、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用については、今回3名の学識経験者に依頼し、所見をいただいております。

自己点検・評価に当たっては、客観的な視点に立ち実施しており、学識経験者の所見にもあるように、教育機関等との連携、児童・生徒の安全対策、学校施設の適正配置の促進、学力向上対策、地域の人材や資源を活用した体験学習機会の充実、文化財に関する情報発信の強化等について、一定の評価が得られております。

特に、新型コロナウイルス感染症対策により規模を縮小して実施してきた事業を、以前の事業規模に戻す取り組み等について高い評価をいただきました。

一方、改善を要する点として、島っこ留学の促進、生徒指導の充実、各機関や社会教育団体との連携体制づくり、地域が一体となった青少年健全教育の推進等について、期待を込めたご意見をいただいております。

この報告書を作成するに当たり、学識経験者からいただいた所見を真摯に受け止め、本市教育委員会の課題や今後の取組の方向性を再考し、市民に信頼されるよう適正で効率的・効果的な教育行政の推進に努めてまいります。

令和5年8月

対馬市教育委員会

学識経験者の所見

<評価できる点>

第1 教育委員会の活動及び管理執行事務

項 目	評価できる点
P 1 2 1－（４）教育機関等との連携	<p>①コロナの影響が薄まりつつある中で、教育長及び教育委員の学校訪問の回数が戻りつつあることは大変良いことである。教育行政を考えるうえで、学校現場の現状や実態を直接見ることは大切である。また、学校現場にも程よい緊張感をもたらすことも有意義である。これからも積極的に学校訪問を実施してもらいたい。</p> <p>②令和3年度（20回）より大幅増の33回。積極的な取り組みが窺えます。今後も頻繁な訪問をして連携強化への努力を望みます。</p>
P 1 3 2－（２）学校その他の教育機関の設置及び廃止に関する事	<p>児童・生徒数の減少に伴う学校の統廃合施策については、ご苦労が多い中で粛々と進行していることを評価したい。統合計画から4分の3は進んだのではないだろうか。通学距離や地域・保護者の思いなど課題は多いが、無理なく一步一步着実に進めてほしい。</p>
P 1 4 2－（９）教育委員会表彰を行うこと	<p>①今年度のように広い見地をもって対象者を抽出してもらいたい。</p> <p>②表彰の実施があったのは良いことと思う。差し支えなければ、受賞団体についての記載もあれば良いと思う。</p>

第2 教育委員会事務局の執行事務（教育委員会から教育長に委任される事務）

項 目	評価できる点
P 1 6 2－（１）第2次統合計画の促進	<p>昨年、予定にも挙がっていなかった「豊小学校」について、すでに令和6年3月閉校、4月から比田勝小学校へ統合で合意書を締結されたとのこと。スピーディーな案件解決に敬意を表します。</p>
P 1 7 1－（１）ふるさと教育の充実	<p>「ふるさと学推進協議会」なる組織を結成されるなど、真摯な取り組みを感じます。益々の充実を期待しています。</p>

項 目	評価できる点
P 1 7 2－（１）学力向上対策	<p>①全国平均に満たない学力テストの結果を踏まえ、対馬独自の学力調査を実施したいとのこと。テスト結果を多方面で総括し、より良い方策を講じようとする姿勢に共鳴します。</p> <p>②長年の目標である、学力調査における全国平均超えの達成にはもう少しであるが、教育委員会と学校とが目標に向かって頑張っている姿勢は評価できる。児童生徒がタブレット端末を普通に使いこなしているのも進歩である。令和５年度から小学３・４年と中学１年にも学力調査をすることは良いことである。</p>
P 1 8 2－（２）特別支援教室の推進	<p>①特別支援教育コーディネーターの重要性が増してきたと思われます。幼・保・小・中・高のコーディネーターの情報交換で縦の連携が深まることを期待します。</p> <p>②特別支援教育の施策については充実していると感じる。数々の研修会はもちろんではあるが、教室や教具などの教育環境の整備、介助員の数と質の充実等。就学前の園児の実態の把握もしっかりできている。また、保護者の特別支援教育への理解が進んだことは大きな進歩である。</p> <p>③初めて介助員として勤務される方を対象にした介助員研修会に、毎年参加される介助員経験者も多数いらっしゃるとのこと。そんな意欲に応えるべく充実した研修会を継続してほしい。</p>
P 2 0 4－（２）健康教育の推進	<p>この２，３年のコロナ禍の中で、児童生徒の健康を守るために、教育委員会と学校が一体となって対応を図ってきたことを評価したい。コロナ禍は収まりつつあるが、また、健康を脅かす何かが起こることは予想される。今後も、対応を早くして、児童生徒の健康を守ってほしい。</p>
P 2 3 6－（３）学校訪問	<p>学校数が減り、回転も速くなると思うが、学校訪問はこれまでどおり実施していただきたい。学校訪問は学校側も教育委員会側も大きなエネルギーを必要とする。しかしそれだけに、大きな効果も期待できる。がんばってほしい。</p>

項 目	評価できる点
P 2 6 2－（１）地域の人材や資源を活用した体験学習機会の充実	<p>①学校の放課後や休業日を対象として子どもたちの育成事業が実施されていることは大変良いことだと考える。保護者の働き方の変化に伴い、その需要はますます高まると予想される。新たな子ども教室の設置も検討中であるということであるが、夏休み等の長期休業も含めて考えていただくと、保護者は助かるであろう。</p> <p>②「しまの『ミライ』応援事業」の開催支援で、事後アンケートによれば、ふるさとの未来を考え、主体的に関わっていこうとする意欲が高まった、とのこと。非常に意義深い事業である証左。ぜひ開催支援を継続してほしい。</p>
P 2 9 4－（１）芸術文化活動の発表機会の場づくり	<p>展示方法を変更するなど、従来の形式にとらわれずに改善を行い、また、前年度に比べ来場者が増加したことは評価できる。</p>
P 2 9 4－（２）本物の芸術・文化に触れる機会の提供	<p>メディアやインターネットの発達した時代において、子どもたちは多くの情報を手に入れることができる。しかし、直接体験して接する機会はまだまだ少ない。毎年、本物に触れる機会を与えていることを評価したい。今後も、多くの機会をつくり続けてほしい。</p>
P 3 4 1－（１）史跡・名勝の整備推進	<p>毎年継続的に史跡・名勝の整備を進めていることを評価したい。歴史的遺産の多い対馬である。それが放置されることなく、しっかり管理をして後世に伝えていってもらいたい。</p>
P 3 5 5－（１）文化財PRイベントの実施	<p>遺跡のバスツアー、城下町散策など、市民参加型の事業に多く取り組んでおられることを評価し、継続をお願いします。可能ならば、対馬の先人らの顕彰碑やお墓などの史跡巡りに拡大してもらえることを期待します。</p>
P 3 6 5－（２）子どもたちの郷土学習への寄与	<p>①学校には「対馬学」がだいぶ浸透してきたと思う。「対馬の動植物」と「対馬の史跡」がその両輪であろう。縄文遺跡に関する学習や遺跡発掘体験授業は良い試みであると考えます。</p> <p>②今後も、学校教育課を通して文化財や歴史教育に積極的な関与を期待します。</p>

項 目	評価できる点
P 3 6 5 - (2) 子どもたちの郷土学習への寄与	③取り組み内容は、とても良いものだった。郷土の文化財を通して、子どもたちに地元への関心を持ってもらえる良い機会と考える。
P 3 6 5 - (3) 情報発信の強化	文化財標識、案内板の補修工事の執行有り難く思います。予算不足の中で大変でしょうが、スピード感を持って今後の作業を進めてください。

<改善を要する点>

第1 教育委員会の活動及び管理執行事務

項 目	改善を要する点
P 1 2 1 - (3) 教育委員会と市長の連携	例年1回は市長との意見交換をされているようですが、統合問題や島っこ離島留学制度など喫緊の課題も山積していることから、もう少し連携を密にして課題解消に努めてほしいと思います。

第2 教育委員会事務局の執行事務（教育委員会から教育長に委任される事務）

項 目	改善を要する点
P 1 5 1 小・中学校施設の整備	旧教員住宅については管理が別に移っているものと思われ、項目も違うと思うが、ここで記させていただく。荒れ果てた教員住宅が放置されたものが残っているが、市で協力して、解体・整地ができないものか。
P 1 6 2 - (1) 第2次統合計画の促進	昨年から続く豆敷中学校に係る保護者説明会は未だ進展なしとのこと。総合的に判断すれば、統合することが自明の理。なんとか突破口を開くべく策を講じてほしいと思います。
P 1 6 2 - (2) 島っこ留学の促進	①島っこ留学については、多くの難しい問題があり、継続が困難であることは理解できる。これは改善を要することではなく、1名でも2名でも、何とか継続を希望する。

項 目	改善を要する点
P 1 6 2－（２）島っこ留学の促進	<p>②当初から懸念されていた里親の確保。里親の経験のある方が新聞寄稿されていました。「里親受入れはボランティアが前提となっている。里親を職業として認識されなければ質の向上は望み難い」との意見を述べているが、ボランティア精神や自損・他益、利他の精神などの高い志がなければ島っこ留学制度は成り立たない。やみくもに推進するのではなく、撤廃も含めて一度立ち止まり再検討する時期ではないでしょうか。</p> <p>③事前視察等で留学を検討する家族があっても、受入れまでに至らないことが残念に思う。特に里親の確保において困難な状況であるが、市民への情報提供にも、より力を入れてみてはと思う。例えば里親経験者に体験談を聞き取り、里親のやりがいやメリットなどを広めていけば、市民にも関心を持ってもらえるのではないかと。</p>
P 1 9 3－（１）生徒指導の充実	<p>生徒指導については、教育委員会・各学校とも力を入れ、子どもたちの素直な成長は感じ取れる。ただ一つ心配なのが「不登校」である。繊細な部分があり即解決ということは不可能だが、SSWの活用、教育支援センターの運用も含めて、少しでも前に進むことを期待したい。</p>
P 2 5 1－（１）各機関や社会教育団体との連携体制づくり	<p>生涯学習関係において、多くの有益な事業を展開されていることは評価したいが、課題は「人」集めであろう。子育て等において一人で悩み、ニーズを感じている人は多いと思う。そのあたりに何か切り込めないだろうか。</p>
P 2 7 2－（２）地域が一体となった青少年健全教育の推進	<p>家庭教育学級の開催の「同じ世代の子育てをする親の悩みなどを相談・共有できるコミュニティ形成を目的としたレクリエーション活動や体験活動」で、こんなすばらしい家庭教育学級が、厳原幼稚園だけを対象とした事業になっていることが残念です。事業を拡大するために教育委員会の関わりをお願いしたい。</p>
P 2 7 2－（２）地域が一体となった青少年健全教育の推進 P 2 8 3－（１）市民の人権意識を高める機会の充実	<p>「少年の主張大会」や「じんけんを考えるつどい」においては、来場者が少ないことが大きな課題ではないかと感じる。2事業のタイアップも検討しているとのことであるが、従来の形にとらわれることなく、何らかの工夫が必要ではないか。それぞれの事業において、より多くの来場者があれば、中学生や登壇者のモチベーションにもつながると思う。日程や内容・広報の手法において、関係機関でより良い策を考えていただきたい。</p>

項 目	改善を要する点
P 2 9 4－（２）本物の芸術・文化に触れる機会の提供	<p>対馬の先人を題材に講演活動をしている地元劇団があると聞きます。身近な存在の芸術に触れる機会を設けてやってもいいのではないのでしょうか。</p>
P 3 1 6－（２）市民の読書活動の推進	<p>令和４年度に 2,588 冊、3,486 千円の予算を使って図書の購入をされるなど、図書館資料の充実や読書活動の推進に力を入れていただいていることは評価できます。そんな取り組みの延長に「読書感想文集」の発行を企画されてはどうでしょうか。読書後の感想を文字でまとめること、他人の読んだ本の感想を知ることで、さらなる読書意欲が高まるのではないかと思います。</p>
P 3 6 5－（２）子どもたちの郷土学習への寄与	<p>小学校６年生の歴史の学習において、子どもたちは縄文時代について大変興味を持っている。縄文遺跡が数多く残る対馬において、もっとそれを活用する方法・施策はないだろうか。</p>
P 3 6 5－（３）情報発信の強化	<p>現在、市報に掲載されている「対馬発掘調査日誌」を興味深く読んでいますが、所在地が不明で探索できません。近辺の略図でも添付できないでしょうか。</p> <p>老朽化した文化財標識、案内板補修は順次更新されていますが、新たな設置を必要とする遺跡、史跡の調査確認も併せて進めてほしいと思います。</p>

令和５年８月８日

薦 田 万州生
 武 末 俊 紀
 多 田 侑 加

第1 教育委員会の活動及び管理執行事務

1 教育委員会及び教育委員の活動

項 目		活動内容等
		点検・評価のコメント
(1) 教育委員会会議の運営改善	①会議の開催	令和4年度は11回開催した。(令和3年度 11回) 9月を除く各月に1回開催し、審議に必要となる日数は確保できた。定例会として月1回実施した。
	②議事録の公開、広報、公聴活動の状況	令和4年度における傍聴者0人 (令和3年度0人) 会議録を市のホームページへ掲載し、積極的な情報発信を行った。
(2) 教育委員会と事務局との連携		議案を事前に送付することで、会議の円滑な進行と十分な審議ができるよう努めている。 議案等会議資料の事前配布や電子メール等を活用し必要な情報提供を行っており、教育委員との連携は図れている。
(3) 教育委員会と市長との連携		総合教育会議を1回開催し、島っこ留学制度等について、市長との意見交換を行った。(令和3年度 1回開催) 毎年1回以上は、市長との意見交換を行うように努めている。
(4) 教育機関等との連携	①学校訪問	令和4年度訪問回数 33回 (令和3年度 20回) ※教育長のみの訪問は除く。 例年、積極的に参加している運動会、卒業式、公開授業等の行事に加えて、教育長の学校ミニ訪問に同行し、校長等と意見交換を行い連携強化に努めた。
	②その他の施設への訪問、行事参加等	その他行事等参加 3回 その他各施設で行われる行事で、二十歳を祝う会、少年の主張大会、中学校体育大会に出席し、子供たちの活躍や成長を見聞することができた。
(5) 教育委員の自己研鑽		令和4年度 2回 (令和3年度 0回) ・ 県市町教育委員合同研修会オンライン研修 ・ 市町村教育委員会研究協議会(長崎市) オンラインでの研修会や研究大会へ参加し、他市町の教育委員との意見交換を行い、課題、検討事項の解決、研究に努めた。 また、教育関係刊行物などを購読し、情報の収集に努めた。

第1 教育委員会の活動及び管理執行事務

2 教育委員会が管理又は執行する事務（教育長に委任できない事務）

項 目	活動内容等
	点検・評価のコメント
(1) 教育行政の基本方針に関する こと	<p>令和3年3月に「第2期対馬市教育振興基本計画」（令和3年度から令和7年度）の策定を行っている。</p> <p>「第2次対馬市総合計画」の教育施策を総合的かつ計画的に推進するための「対馬市教育方針」や「対馬市教育大綱」ともリンクした計画を策定している。</p>
(2) 学校その他の教育機関の設置 及び廃止に関すること	<p>乙宮小学校の廃止について審議し、決定した。（令和5年3月31日をもって廃止。）</p> <p>統合推進計画に基づいて統廃合を行っている。</p>
(3) 予算その他の議会の議決を経 るべき議案に関すること	<p>条例の制定改廃議案 2件、その他 2件 計 4件（令和3年度 5件）</p> <p>必要な案件について、漏れなく審議を行っている。</p>
(4) 教育委員会規則の制定又は改 廃に関すること	<p>規則の制定改廃議案 5件 （令和3年度 7件）</p> <p>必要な案件について、漏れなく審議を行っている。</p>
(5) 学童児童及び生徒の就学すべ き学区の設定又は変更をする こと	<p>令和4年度末に乙宮小学校を豊玉小学校に統合することに 伴い、学区の変更を行った。</p> <p>学校統合協議の中で、保護者等と十分協議のうえ学区の変 更を決定し、令和4年11月24日開催の教育委員会におい て規則改正の議決を行った。</p>
(6) 県費負担教職員の懲戒及び県 費負担教職員の管理職任用そ の他進退について県教育委員 会に内申すること	<p>令和4年度 人事内申 2月委員会審議、議決 処分内申 0件 （令和3年度 人事内申 2月委員会審議、議決 処分内申 0件）</p> <p>必要に応じて実施している。</p>
(7) 教育委員会の附属機関の委員 の任免を行うこと	<p>委員の委嘱の議案 3件</p> <p>各種委員会の委員の任免、委嘱については、漏れなく審議し ている。</p>

項 目	活動内容等
	点検・評価のコメント
(8) 教科用図書の採択に関する こと	令和4年度 採択替えは行っていない。 (令和3年度 採択替えは行っていない。)
	教科用図書は、原則として4年間同じ教科用図書を使用することになっている。令和5年度が小学校の教科用図書の採択替え、令和6年度が中学校の教科用図書の採択替えの予定である。
(9) 教育委員会表彰を行うこと	令和4年度表彰者 2団体 (令和3年度表彰者 0名)
	教育行政に功労のあった2団体に対し表彰を行った。(文化功労)
(10) 文化財の指定又は解除に関する こと	新たに条件を満たした「対州馬」4頭を対馬市天然記念物に追加指定した。
	令和4年5月26日付け、指定頭数39頭
(11) 教育部長、理事、次長、本庁 の課長及び指導主事の任免そ の他の人事に関すること	令和4年度 1件 (令和3年度 1件)
	必要に応じて行っている。
(12) 人事の基本方針を定めること	特に定めはない。
(13) 県費負担教職員のサービスの監督 の一般方針を定めること	地方公務員法、教育公務員特例法及び県の条例に則って指導した。
	県教育委員会の通知・通達による指導、毎月実施する定例校長会や定例教頭会を通じた指導、服務規律強化月間の取組などを通して服務規律の徹底を図っている。
(14) 教育委員会の附属機関に対し 諮問を行うこと	該当事案なし。

第2 教育委員会事務局の執行事務（教育委員会から教育長に委任される事務）

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
◎ 安全・安心な教育環境の整備・充実	1 小・中学校施設の整備	(1) 快適な学習環境づくり	<p>○備品購入費 令和4年度 22,726千円 (令和3年度 19,294千円)</p> <p>○図書購入費 令和4年度 3,467千円 (令和3年度 3,641千円)</p> <p>○スクールバス購入費 令和4年度 7,105千円 (令和3年度 4,928千円)</p> <hr/> <p>年次計画により、安全、安心で快適な教育環境整備を進めており、併せて学校図書の充実を図っている。</p>
		(2) 児童・生徒の安全対策	<p>令和4年度工事</p> <p>○トイレ洋式化工事（2校） 27,700千円 (西小・仁田小)</p> <p>○美津島北部小学校フェンス改修工事 6,530千円</p> <p>○雞知中学校校舎屋上改修工事 38,687千円</p> <p>○比田勝小学校法面保護工事 11,511千円</p> <hr/> <p>平成30年度から計画的に小・中学校の和式トイレの一部を洋式トイレに改修する事業を進めている。洋式化率は、平成29年度末が19.5%、令和4年度末が42.3%となっている。</p> <p>美津島北部小学校の国道沿いのフェンスが老朽化していたため、PCフェンスを改修した。</p> <p>雞知中学校の本校舎が、屋上防水の劣化により雨漏りしていたため全面改修した。</p> <p>比田勝小学校の裏山法面が風化してきたので児童の安全確保のために法面保護工事を実施した。（3か年工事の2年目）</p> <hr/> <p>○維持補修事業 令和4年度 118,891千円 (災害復旧事業21,822千円を含む。鶏鳴小学校法面災害復旧事業ほか) (令和3年度 119,251千円)</p> <hr/> <p>学校施設は、児童・生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、また災害発生時には、地域住民の避難場所として重要な役割を担う防災拠点としての性格を持っており、安全安心な施設として必要な整備を実施している。</p>

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等										
			点検・評価のコメント										
◎ 安全・安心な教育環境の整備・充実	2 学校施設の適正配置の促進	(1) 第2次統合計画の促進	<table border="0"> <tr> <td>乙宮小学校統合に係る閉校準備委員会</td> <td>5回</td> </tr> <tr> <td>豆殿中学校統合に係る保護者説明会</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>豊小学校統合に係る保護者説明会</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>豊小学校統合に係る地区説明会</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>豊小学校統合に係る地区との合意書の締結</td> <td>2地区</td> </tr> </table>	乙宮小学校統合に係る閉校準備委員会	5回	豆殿中学校統合に係る保護者説明会	1回	豊小学校統合に係る保護者説明会	1回	豊小学校統合に係る地区説明会	1回	豊小学校統合に係る地区との合意書の締結	2地区
		乙宮小学校統合に係る閉校準備委員会	5回										
豆殿中学校統合に係る保護者説明会	1回												
豊小学校統合に係る保護者説明会	1回												
豊小学校統合に係る地区説明会	1回												
豊小学校統合に係る地区との合意書の締結	2地区												
(2) 島っこ留学の促進	<p>児童生徒の減少が著しく、複式学級が増加し学校統合が進む中、全国から留学を希望する児童生徒を留学生として受け入れ、対馬の子供や地域との交流を図ることで、複式学級の解消や学校活動の活性化、地域文化の継承や地域コミュニティの活性化を図ることを目的としている。</p> <p>ホームページやSNS等を活用し、留学生の募集や留学生の様子、留学制度等について情報発信を行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、留学希望者を対象とした体験留学や制度説明会は中止した。</p> <p>令和4年度 ○島っこ留学推進協議会 3回（令和3年度 3回） ※うち1回は書面開催 ○留学生 1名（令和3年度 5名） ○里親 1名（令和3年度 2名） ○受入校：佐須奈中学校 ○事前視察 4家族（令和3年度 6家族）</p>												

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
◎ 確かな学力・豊かな心を育てる学校教育の推進 ◎ 国際化に対応できる教育の推進	1 対馬を支える人材の育成	(1)ふるさと教育の充実	①新補及び転入管理職員研修会 1回開催【R3：1回】 ②初任者研修地区独自研修 1回開催【R3：1回】 ③市教頭研修会 1回開催【R3：1回】 ④教務主任研修会2回開催【R3：1回】 ⑤ふるさと学習全体計画の作成 ①新任の管理職員や転入した管理職員を対象に教育長説示、学校教育課長による対馬市の教育概況及び教職員の服務に関する全体指導の後、担当主幹による校長・教頭別に演習を行った。また、自然・文化・歴史的な魅力や対馬のよさについて知ってもらうために対馬観光物産協会事務局長の西氏を講師に迎え、講話を実施した。 ②初任者研修では、地区独自研修として、対馬観光物産協会事務局長の西氏を講師に迎え、「対馬の魅力」についての講義と対馬博物館の見学を通して、対馬への理解を深めた。 ③市教頭研修会でふるさと学習の充実に向けた取組を発表し、発表内容について担当主幹が指導助言を行った。 ④第1回目の教務主任研修会において、小・中学校が連携してふるさと学習を進めるために、中学校区毎に情報交換を行った。各学校で独自のふるさと学習が実施されている。外部機関と連携した体験学習が増えている。 ⑤すべての小・中学校において、「ふるさと学習全体計画」を作成し、学校要覧に記載している。朝鮮通信使に関する学習内容を市内小・中学校の共通教材としている。
		(2)国際理解・外国語教育の充実	①外国語、英語授業の小中連携 ②スキルアップ研修（中学校英語科教員） ①市内全ての小中学校間で外国語・英語科の授業参観等を実施した。 ②市内全ての中学校英語科教員が参加し、持ち寄った授業動画についての協議や「新しい評価」の趣旨に基づいたテストの作成等を行った。
	2 個々の学びの充実	(1)学力向上対策	①研究指定事業 指定研究校5校【R3：5校】 校内研究推進校3校【R3：3校】 ②研究主任研修会 1回開催【R3：1回】 ③小学校複式指導法研修会 3回開催【R3：3回】 ④小学校指導法改善研修（国語）1回開催【R3：1回】 ⑤中学校指導法改善研修（国語）1回開催【R3：1回】 ⑥新任教務主任研修会 2回開催【R3：1回】 ⑦教務主任研修会 2回開催【R3：2回】 ①指定研究校は、研究主題の実現に向けて仮説を立て、具体的な共通実践を通して児童生徒の資質向上が図られた。全職員が研究に関わり、協働して研究を進めた成果が現れていた。校内研究推進校では、タブレット端末の共有機能を使って研究協議を行う学校が増え、ICT機器の積極的な活用が図られていた。

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
◎ 確かな学力・豊かな心を育てる学校教育の推進 ◎ 国際化に対応できる教育の推進	2 個々の学びの充実	(1) 学力向上対策	②研究主任研修会では、前年度の校内研究推進校2校が実践発表をした。担当指導主事が、「校内研究実践収録」を基に各校の課題を紹介し、研究主任の役割と研究の見通しの持ち方について講義を行った。 ③小学校複式指導法研修会の1回目は、初めて複式指導を担当する教員を対象に研究授業や協議、講義を実施し、複式指導の基本について学んだ。2回目は、乙宮小学校の研究本発表会と兼ねて実施。3回目は、複式指導におけるタブレットの活用について指導を行った。 ④⑤小学校・中学校指導法改善研修では、公開授業と研究協議、県教育庁の指導主事を講師として招聘し、国語科の授業における主体的・対話的で深い学びの実現について講義をしていただいた。 ⑥第1回教務主任研修会に先立ち、午前中に新任教務主任のみの研修を行った。講義と研究協議により、教務主任としての基本的な職務と役割を指導した。 ⑦第1回目では、カリキュラム・マネジメントへの関わり方について指導し、班別協議で情報共有と意見交換を行った。 第2回目では、年度末と年度始めの提出物を確認すると共に、年度末までに行う教務主任の業務を確認した。その後、班別協議で情報交換を行い、中学校区ごとに次年度の行事や連携について協議した。
		(2) 特別支援教育の推進	①特別支援教育研修会 1回開催【R3：中止】 ②新任特別支援教育コーディネーター研修会 1回開催 ③特別支援教育コーディネーター地区別研修会 1回開催 ④教育支援委員会 2回開催【R3：2回】 ⑤対馬市教育相談会 2回開催【R3：2回】 ⑥介助員研修会 1回開催【R3：1回】 ⑦特別支援学級、幼稚園、保育所等訪問 幼稚園・保育所13園、小学校2校訪問
			①特別支援教育研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオンラインで開催をした。オンライン開催に変更したため、協議の時間を取ることができず、各校の課題について意見交換ができなかった。 ②新任特別支援教育コーディネーター研修会では、協議を通して、他校の実践からヒントを得て、自校の実践に生かそうと意欲的な取組が見られた。各校の特別支援教育のリーダーとして、必要な知識やスキルを学べる内容を伝達しているため、校内研修等を活用して、全職員に伝達してもらうようにしている。 ③特別支援教育コーディネーター地区別研修会は、上地区と下地区で実施した。幼・保・小・中・高の異校種のコーディネーターが情報交換をすることで、縦の連携の大切さを改めて実感したり、今後のよりよい連携の在り方についても協議ができたし、意義のある研修となっている。今後も園や学校のニーズに応じた研修会を企画していく。

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
◎ 確かな学力・豊かな心を育てる学校教育の推進 ◎ 国際化に対応できる教育の推進	2 個々の学びの充実	(2) 特別支援教育の推進	④⑤次年度の就学等、配慮を要する児童生徒についての協議や教育相談を行った。年々、個別の指導を望む保護者が増加しており、必要な情報を適切に提供する必要がある。 ⑥介助員研修会は、初めて介助員として勤務する方を対象に実施している。毎年、熱心に参加される介助員が多い。班別協議では、それぞれの学校（園）で行っていることや悩み等を共有し、有意義な時間となっている。 ⑦学校訪問等で特別支援学級における授業の様子や支援の在り方を参観し、指導助言を行った。また、保健師、各地区の就学担当者とともに、保育所、幼稚園、こども園訪問を行い、未就学児の情報共有し、教育相談につなげることができた。
		(3) ICT教育の推進	①小学校複式指導法研修会※再掲 ②研究指定事業※再掲 ③指導主事の訪問指導 ①第3回の研修会において、ICTの活用方法等についての講義を行った。 ②校内研究推進校において、ICT機器の積極的な活用が図られた。 ③小学校3校、中学校1校を指導主事が訪問し、校内研修で実践指導を行った。
	3 自己実現を目指す子供の育成	(1) 生徒指導の充実	①生活指導主任・生徒指導主事研修会 2回開催【R3：2回】 ②SSW・SCの活用 ③教育支援センターの運用 利用者延べ人数205名【R3：170名】 ①第1回は、いじめの定義や認知、組織的対応について説明と問題行動調査の対馬市の結果について説明し、対馬市の生徒指導上の課題を共有することができた。第2回は、不登校に関する調査研究協力者会議報告書の内容について説明し、不登校についての考え方や支援の仕方について見識を深めた。また、カウンセリング（教育相談）の演習を行った。 ②SSWについては、1名を1校に配置し、配置校以外で41回の派遣実績であった。SCについては、4名を6校に配置し、配置校以外で3回派遣実績がある。対応件数も増加傾向にある。 ③年度当初、在籍8名でスタートしたが、措置変更、クラス替え等で不登校の原因が解消されるなどして、3名が復帰。さらに1名も別室登校ながら学校に登校するようになった。定期的に通所したものは、3名であった。

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
◎ 確かな学力・豊かな心を育てる学校教育の推進	3 自己実現を目指す子供の育成	(2) 道徳教育の推進	<p>①道徳教育パワーアップ研究協議会【3回】 ②道徳教育推進研修（NITS オンライン研修）6講義 ③道徳教育パワーアップ研究協議会【冬版1回】</p> <hr/> <p>①②は、全ての研修会がオンラインでの開催となった。 ①～③の研修会は、例年、著名な講師による講演が盛り込まれており、道徳科に関する最新情報を得ることができる貴重な機会となっている。</p>
		(3) 人権・平和教育の推進	<p>①人権教育担当者研修会（中止） ②対馬市人権教育研究大会（オンライン）</p> <hr/> <p>①新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止した。 ②令和4年度は、第32回長崎県進路・学力保障研修会の合同開催をした。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオンラインで開催となったが、人権教育の実践報告、実践交流、講演など、様々なアプローチから教職員の人権教育に関する理解を深め、人権感覚を磨くことができた。また、各学校間での情報交換も行うことができ、人権教育を行っていく上でのヒントを得ることができる有意義な研修会であった。</p>
◎ 国際化に対応できる教育の推進	4 健やかな体を持つ子供の育成	(1) 体力向上対策	<p>①長崎県教育委員会指定体力向上推進モデル校事業 ・場所：美津島北部小学校 ・内容：「ソフトバレーボール」 ・参加者：対馬市小学校教育研究会体育部会部員及び希望者（20名） ・指導助言：長崎県教育庁体育保健課 指導主事</p> <hr/> <p>①研究の説明では、的当てやケンケンパーの円を玄関前に描くなどの体を動かしたくなる工夫についての実践の紹介があり、参観者の参考になっていた。指導助言では、「アダプテッドスポーツ」の視点をもって体育の授業を計画していくことについての講義があり、見識を深めることができた。</p>
		(2) 健康教育の推進	<p>①保健主事研修会 1回開催【R3：1回】 参加者：養護教諭及び保健主事（40名） ②養護教諭研修会 2回開催【R3：1回】 参加者：養護教諭（27名）</p> <hr/> <p>① ②保健主事研修会と養護教諭研修会を合同で開催した。令和3年度健康教育指導者養成研修受講者から「学校における救急処置のあり方」をテーマに、心臓突然死に対する現状や対応の仕方について伝達報告をしていただき、救急救命の指導の進め方や意義について学ぶことができた。実践発表では、生活習慣改善の実践について、豊玉・峰支部がこれまでの授業実践や保健指導の教材などを紹介し、研究協議を実施した。指導助言では、文部科学省作成の健康教育参考資料の内容を中心に説明し、健康教育への理解を深めることができた。保健主事にとっても健康教育について学ぶ良い機会となった。</p>

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
◎ 確かな学力・豊かな心を育てる学校教育の推進 ◎ 国際化に対応できる教育の推進	4 健やかな体を持つ子供の育成	(2)健康教育の推進	②第2回は、防災教育の実践について、美津島支部がこれまでの授業実践や保健指導の教材などを紹介し、研究協議を実施した。研究協議では、災害時の対応等について協議を行った。指導助言では、安全教育の意義と災害時の養護教諭の役割について指導した。講義では、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」Ver. 8について説明し、今後の感染対策のあり方について指導した。
		(3)食育と学校給食の充実	<p>①栄養教諭・学校栄養職員・食育担当者会 ・参加者：栄養教諭、学校栄養職員、食育担当者（32名）</p> <p>②学校給食事務関係</p> <p>(1) 地場産物使用状況調査を2回実施（11月・2月） (2) 学校給食用食材定期点検2回実施（7月・9月） (3) 学校給食栄養報告を2回実施（6月・11月） (4) 学校給食会に関すること ○委託料213,100千円（給料・需用費・役務費等） ○共同調理場 6施設 ○職員数 52名 ○理事会2回開催（5月・2月） ○会計監査の実施（5月・7月・10月・2月）</p> <hr/> <p>①講義では、令和4年3月に策定された「第3次対馬市食育・地産地消推進計画」についての説明を行い、対馬市の食育の状況や目標について確認を行った。班別協議では、対馬市の課題である朝食摂取率を改善させるための取組について意見交換を実施し、情報を共有することができた。また、改善策を話し合うことで食育推進への意欲を喚起することができた。</p> <p>②安全・安心な学校給食の提供のため研修等を通じて職員の意識向上に努めた。市補助を受けて対馬産農水産物の利用促進に努めた。今後、更に利用を促進するために関係課・機関と連携を図っていく。</p>
	5 ICTを活用した教育の充実	(1)端末活用の推進	<p>①ICT活用関連研修会 ・初任者研修※再掲 ・研究主任研修会※再掲 ・複式指導法研修会※再掲 ・指導主事の訪問指導※再掲</p> <p>②eライブラリ年次更新研修会（オンライン研修） ③ロイノート年次更新研修（動画配信）</p> <hr/> <p>①各種研修の中でタブレット端末の活用推進に向けた実践研修を実施した。 ②タブレットのアプリケーションの児童生徒情報のスムーズな年次更新に向けて研修会を実施した。オンライン研修として実施した。 ③配信された研修動画を視聴する型式で研修会を実施した。 ② ③各学校からの年次更新に係る問い合わせがほとんどなくスムーズに更新作業を実施できた。</p>

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
◎ 確かな学力・豊かな心を育てる学校教育の推進 ◎ 国際化に対応できる教育の推進	6 その他	(1) 経年研修の実施	<p>①初任者研修（連絡研修、地区独自研修、教科研修、教科外研修、課題研修）6回開催【R3：5回】</p> <p>②中堅教諭等資質向上研修 2回開催【R3：2回】</p> <hr/> <p>①地区独自研修として対馬博物館の見学と観光物産協会事務局長の講話により、対馬の魅力と歴史の理解促進を図った。 教科外研修を1日日程で実施した。1学期の学級経営を振り返り、初任者間の情報交換を行い、2学期への不安軽減へとつなげた。また、ロイロノートを授業で活用する方法について講義し、活用事例の情報交換を行った。教科研修では、小・中学校各1名の代表初任者が授業を公開した。</p> <p>②第1回では、講話に基づき個人演習を行った。自校における自己の立場や高めるべき資質・能力について確認し、研修計画を立てることができた。第2回では、研究の成果を発表した。教育長の講話・説示からミドルリーダーとしての自覚を高めることができた。初任者との連携研修では、異校種・異教科の初任者への授業提供と授業作りについてのアドバイスを通して、中堅教諭としての意識を高めることができた。</p>
		(2) 管理職員研修の実施	<p>①新補及び転入管理職員研修会 1回開催 ※再掲</p> <p>②市校長会 1回開催【R3：1回】</p> <p>③市校長研修会 1回開催【R3：1回】</p> <p>④定例校長会 12回開催【R3：11回】</p> <p>⑤教育長・校長合同研修会 1回開催【R3：1回】</p> <p>⑥市教頭会 2回開催【R3：1回】</p> <p>⑦市教頭研修会 1回開催【R3：1回】 ※再掲</p> <p>⑧定例教頭会 9回開催【R3：9回】</p> <hr/> <p>①ふるさと教育の充実①に同じ。</p> <p>②市教委の事業計画や実施総括について、各学校との相互理解と相互協力を確認する場となった。市教委と市校長会とが連携し、よりよい教育行政及び学校経営のために必要な会議である。</p> <p>③厳原支部が、「明確な経営ビジョンをどのように策定するか」「創意と活力に満ちた学校経営を推進していくために、校長はどのような役割を果たしていけばよいか」の2点を研究の視点として実践発表を行った。</p> <p>④市教委からの指示・指導及び、市校長会との共通理解を図る場となっており、学校教育の充実につなげるために、次年度も同様に計画する。必要や要請に応じて外部団体からの時間も確保している。校長会と連絡を取り合いながら、次年度以降も外部からの要請には極力応えていく。午後からは校長会の計画により、全体会、支部校長会、各専門部会等が開かれ、有意義な研修の場となっている。</p> <p>⑤人事関係説明会では、県教委の地区担当者が次年度からの人事異動の基本方針の変更点を中心に令和5年度人事異動の基本方針や要領について説明した。市教委は対馬市独自の関係資料を準備し、定例校長会にて説明した。</p>

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
◎ 確かな学力・豊かな心を育てる学校教育の推進 ◎ 国際化に対応できる教育の推進	6 その他	(2) 管理職員研修の実施	⑥ 市教委の事業計画や事業総括について説明することを通して、理解と協力、評価を得る場となっている。施策等の周知及び教育行政と各学校の情報交換を行うことにより、管理職員としての意識の高揚を図った。 ⑦ 「ふるさと学習」の継続的な取組やタブレット型端末の活用について探究し、本市の重点施策を意識したものであり、また、学校現場で、即時的、実践的に活用できる内容であった。アンケートにより、児童生徒、教師について ICT 活用における意識や実態を調査、把握し、一人一台端末の活用によって、どのような成果や課題があるのかを明らかにし、その改善を図るための方向性が示されていた。研究発表に対して、市教委主幹が指導助言を行った。 ⑧ 市教委からの指示・指導、連絡等を周知することができた。ミニ研修は、管理職として職務遂行に必要な実務的な研修になるよう内容を工夫した。午後は、教頭会の全体会、支部会等を開催し、研究テーマに沿った研修が行われた。また、学校間の情報交換の場として重要な会となっている。
		(3) 学校訪問	① 新任校長校訪問 1回 小学校 1校 【R3：各校 1回 小学校 3校】 ② 学校経営研究訪問 各校 1回 小学校 3校、中学校 3校 【R3：各校 1回 小学校 4校、中学校 2校】
			① 今年度は新任校長校が経営訪問に当たっている学校が 3校あり、新任校長校訪問としては 1校となった。1学期中に設定し、市教委の全指導主事が参加して、より充実した経営につながるよう支援を行った。校長は詳しい資料を準備し、自校の経営状況等に関し丁寧に説明を行った。自校の課題解決に向けた取組がなされ、新任校長としての意欲が感じられた。訪問については年 1回の実施とし、改善点を文書により報告することとしている。校長が訪問時の指導事項に対する改善に取り組んできたことが確認できた。経営状況に課題がある学校については、その都度担当が訪問し、指導をする等の対応をすることで、よりきめ細かい指導ができるものと考えている。どの学校も環境整備がなされており、児童生徒が安心して学べる学校づくりが進められていた。 ② 今年度は新任校長校の学校経営研究訪問が 3校となり、計 6回の訪問を実施した。各校 2時間の授業参観を行い、教科等指導員等の協力を得て、1対1の充実した授業研究を行うことができた。学校教育目標の具現化に向け、教職員と共通理解を図りながら教育活動が推進されていることが把握できた。また、各学校でそれぞれの実態に合った特色ある取組が展開されていた。教科等指導員等の先生方からは、懇切丁寧な指導をしていただいた。

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
<p>◎ 確かな学力・豊かな心を育てる学校教育の推進</p> <p>◎ 国際化に対応できる教育の推進</p>	<p>6 その他</p>	<p>(4) 幼稚園・こども園教育の充実</p>	<p>① 経営訪問 未実施 【R3：1回 1園】 ② 園長会 4回開催 【R3：4回】 ③ 合同研修会 2回開催【R3：2回】 ④ 主任研修会 3回開催【R3：3回】 ⑤ 保育指導法に関する研修会</p> <hr/> <p>① 4年サイクルで実施しており、令和4年度は、実施園はなかった。 ② 市教委と各園長との共通理解を図り、機能の充実、環境整備、教員の資質向上等に向けての協議ができた。各園の連絡調整、情報交換を図る意味でも有意義な会となった。 ③ 第1回は、対馬市の幼児教育の現状及び幼稚園教育の基本方針、重点事項、事業等の共通理解を図り、幼稚園・こども園の教職員としての自覚をもって、職務を遂行することを確認できた。第2回合同研修会では、長崎県教育センターの出前講座を活用した。新型コロナウイルス感染予防のため、急遽オンラインでの実施に変更したが、各園で受講した先生方は、講義内容をもとに積極的に質問をするなど、意欲的に取り組んでいた。また、講義で学んだことを即実践に生かせる演習内容となっており有意義な研修であった。 ④ 第1回では、主任としての職務、関わり方、悩み、また教育課程の編成等の情報交換を行うことで、主任としての自覚と責任をもって職務を遂行するよう指導した。第2回では、小学校教育との接続を踏まえた幼稚園教育の充実について「10の姿の理解と活用」の考えをもとに、講義を行った。第3回では、バス置き去り事案や幼児虐待事案等の根絶のために、幼児の安全管理の徹底について講義を行った。また、主任としてのこの1年間を視点ごとに振り返る講義・演習を行うことで、今年度の成果を確認し、共通する悩みや課題を共有することで、来年度への教育実践の意欲を高め合うことができた。互いの園教育に刺激を受けながら、励まし合い、園のリーダーとしての自覚を深める研修となっている。 ⑤ 対馬市研究指定園（令和4～6年度）として、厳原幼稚園が保育研究を行っている。中間指導を実施し、園児の実態把握をもとに、3年後の成長した園児の具体的な姿を聴き取り、研究主題と副主題、研究仮説、研究内容、研究の実際、研究計画等について指導助言を行った。</p>

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
<p>◎一人一人が生きがいを持ち、地域づくりにつながる生涯学習の推進</p> <p>◎心身の健康と活力を育てるスポーツの振興</p> <p>◎お互いの心と命を思いやる人権教育の推進</p>	1 生涯学習を推進するための体制づくり	(1)各機関や社会教育団体との連携体制づくり	<p>■各団体との積極的な情報交換 各団体が実施する事業等に積極的に参加し、情報交換等を行うことで、連携体制づくりに努めた。</p> <p>○PTA関係 対馬市幼・小・中・高合同PTA研修大会 ：11月13日（日） 市PTA連合会との教育懇談会：11月14日（月） 市PTA連合会との教育連絡会：2月14日（火）</p> <p>○青少年健全育成関係 ココロねっこ指導員等講習会：9月14日（水）</p> <hr/> <p>市PTA連合会との教育懇談会及び教育連絡会を実施し、情報交換を行うことで、連携体制づくりにつながった。今後は、市内の団体との情報交換を行う機会を増やし、各団体等の横断的な連携やネットワークづくりに努める。</p>
		(2)各社会教育団体への支援	<p>■運営費等補助金の支給 市内各社会教育団体への支援として、運営費・活動費の補助金を支給した。</p> <p>○補助総額：4,140千円 ○補助団体：対馬市青少年健全育成連絡協議会 対馬市PTA連合会 対馬市文化協会 対馬市青年団 厳原町婦人会連絡協議会 対馬市人権教育研究会</p> <hr/> <p>新型コロナウイルス感染症の影響によって、計画どおりの活動が行えていない団体もあったが、令和3年度よりも活動が再開しつつある。今後は、補助金の支給だけに留まらず、各団体の活動の活性化につながる生涯学習関係情報の共有などを積極的に行うことで、支援の充実を図る。</p>
		(3)社会教育施設の整備・充実	<p>■市民が利用しやすい環境の整備 公民館等の修繕や設備の更新など、施設の整備を行った。</p> <p>○施設等の修繕料：14,600千円</p> <p>〔主な内容〕 美津島文化会館小会議室空調改修 豊玉文化会館研修室空調改修 上対馬総合センター図書室空調改修</p> <hr/> <p>各町公民館等の老朽化が進み、施設や設備の修繕が必要な箇所が増加傾向にあるが、緊急性等を考慮しながら対処した。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、各公民館の空調設備の改修を行い、3密を回避するための環境整備を行い、市民が安心して施設が利用できる環境を整備した。</p>

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
◎一人一人が生きがいを持ち、地域づくりにつながる生涯学習の推進 ◎心身の健康と活力を育てるスポーツの振興 ◎お互いの心と命を思いやる人権教育の推進	2 郷土を愛する『つしまっ子』の育成	(1)地域の人材や資源を活用した体験学習機会の充実	■地域子ども教室推進事業の実施 安心・安全な子どもたちの居場所をつくるため、地域子ども教室を地域の人材と連携しながら実施した。 ○地域で子育てを楽しむ会（厳原小学校区） 開催回数：1回 参加人数：397人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、ハロウィンイベントのみの開催となった。 ○大船越小学校放課後子ども教室（大船越小学校区） 開催回数：189回 登録人数：32名（延べ2,717人参加） 内 容：学習指導、クラフト工作など ○西小学校放課後子ども教室（西小学校区） 開催回数：14回 登録人数：33名（延べ441人参加） 内 容：クラフト・読み聞かせ・スポーツ活動等
			コロナ禍以前の活動に近い事業が再開し、子どもたちの居場所づくりのために、各小学校区において協働活動に取り組みました。 コロナ禍の中で地域や学校等の連携体制構築が難しい部分があったが、今後は再度連携体制を構築するとともに、従来からの課題である地域の人材確保に取り組む必要がある。 また、市内の小学校区での要望があれば、新たな子ども教室の設置についても検討する必要がある。
			■しまの『ミライ』応援事業の開催支援 離島地域の次世代のリーダーを育成するため、県内の離島に住む小学生が集まり、体験活動や参加者同士の討論を通して、「しま」の魅力や課題について考え、理解を深める機会を提供した。※県の主催事業であるが、参加者の募集等の事業運営に協力。 ○開催日：8月1日（火）～3日（木） ○参加者：31名（うち対馬市からの参加者4名） ○内 容：県内企業等の見学 参加者同士のワークショップ
			参加者事後アンケートにおいて、「今後は島の様々な行事を手伝い盛り上げていきたい」「今回学んだことを同じ島の他の友人に伝え、協力してさらに住みよい島にしたい」「島のリーダーとして、島の発展に関わりたい」などの回答があり、これからのふるさとの「ミライ」を考え、主体的に関わっていこうという意欲が高まったと考える。 今後も継続して、事業の開催支援を行うことで、子ども体験学習の機会の充実につなげたい。

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
◎一人一人が生きがいを持ち、地域づくりにつながる生涯学習の推進 ◎心身の健康と活力を育てるスポーツの振興 ◎お互いの心と命を思いやる人権教育の推進	2 郷土を愛する『つしまっ子』の育成	(2)地域が一体となった青少年健全育成の推進	■第22回対馬少年の主張大会の開催 対馬市青少年健全育成連絡協議会と対馬市教育委員会の主催で大会を開催し、各中学校の代表者8名が発表を行った。 ○開催日：11月27日（日） ○場 所：峰地区公民館 ○成 績：最優秀賞 鶏知中学校 2年 薄本 優 さん 優秀賞 久田中学校 2年 増田 優唯さん 優良賞 豊玉中学校 2年 俵 美空さん
			新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、従来の開催方法に近い形で開催することができた。 来場者は、来賓や関係者等を含め、全体で約50名であり、新型コロナウイルスの影響も要因と推測されるが、「来場者が少ない」という従来からの課題が改めて浮き彫りとなった。 改善策として、少年の主張大会と開催日程が近い、「じんけんを考えるつどい in 対馬」とのタイアップなどを検討している。関係団体等との連携を図り、課題の解決に努めたい。
			■家庭教育学級の開催 同じ世代の子育てをする親の悩みなどを相談・共有できるコミュニティ形成を支援することを目的として、レクリエーション活動や体験活動を実施した。 ○参加対象：厳原幼稚園の保護者・園児 ○レクリエーション活動 開催日：6月21日（火） 参加者：16名（保護者12名、子ども4名） 内 容：保護者同士のミニバレーボール ○料理教室 開催日：10月4日（火） 参加者：14名（保護者11名、子ども3名） ○体験活動 開催日：12月9日（金） 参加者：9名（保護者7名、子ども2名） 内 容：みかん狩り
			保護者間や家族間の交流がしにくいコロナ禍において、本事業を開催したことで、交流が生まれ、家庭教育支援の取組として効果があったと考える。また、昨年度よりも開催回数が増加し、新たな取り組みが生まれたことは評価できる また、長年、厳原幼稚園を対象に継続している事業であることから、今後、市主催事業としてではなく、市が事業に関わりながらも、自主的な事業として継続する方法の検討が必要である。

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
<p>◎一人一人が生きがいを持ち、地域づくりにつながる生涯学習の推進</p> <p>◎心身の健康と活力を育てるスポーツの振興</p> <p>◎お互いの心と命を思いやる人権教育の推進</p>	<p>3 偏見のない明るい社会づくり</p>	<p>(1) 市民の人権意識を高める機会の充実</p>	<p>■じんけんを考えるつどい in 対馬の開催</p> <p>市民の人権意識の向上を図るとともに、人権について考えるきっかけをつくることを目的として、「じんけんを考えるつどい in 対馬」を開催した。</p> <p>○開催日：令和4年12月4日（日）</p> <p>○会場：上対馬総合センター</p> <p>○参加者数：約50人</p> <p>○内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権の花運動実施校の活動紹介（厳原小・鶏鳴小・乙宮小・東小） ・中学生人権作文発表（佐須奈中・比田勝中） ・講演会 講師：パラリンピックメダリスト 芦田 創 氏 テーマ：「より遠くへ」 ・人権パネル展、人権標語の展示
		<p>(2) 啓発活動の実施</p>	<p>■パラリンピアンによる出前授業</p> <p>子どもたちの人権意識の醸成を目的として、市内の小学校において、出前授業を実施した</p> <p>○開催日：令和4年12月5日（月）</p> <p>○講師：パラリンピックメダリスト 芦田 創 氏</p> <p>○場所：厳原小学校</p> <p>○対象者：第6学年の児童</p> <p>○内容：</p> <p>「障害とは何か」「夢」などについて、自身の経験をもとに講話をしていただいた。また、速く走るためのコツなどについても実技を交えて、子どもたちを指導していただいた。</p>
			<p>人権運動の取組や人権作文の発表は、子どもの人権に関する考えを参加者に聞いていただくことで人権意識向上の機会となった。</p> <p>また、講演会では、芦田氏が「自身の障害とどのように向き合ってきたのか」、「障害者を取り巻く社会の課題は何か」などの講話を聞くことができ、障害者の人権問題について、深く考える機会となった。</p>
			<p>ハンディを抱えながらも世界を舞台に戦った経験を聞いたり、一流のアスリートの実技を身近に体感したりすることで、子どもたちが「障害者に対する認識や考え方」を深め、人権意識を醸成する機会となった。</p> <p>また、一流のアスリートのすごさを体感する貴重な機会となった。</p>

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
<p>◎一人一人が生きがいを持ち、地域づくりにつながる生涯学習の推進</p> <p>◎心身の健康と活力を育てるスポーツの振興</p> <p>◎お互いの心と命を思いやる人権教育の推進</p>	4	<p>心を潤す芸術文化活動の推進</p>	<p>(1) 芸術文化活動の発表機会の場づくり</p> <p>■第19回対馬市民美術展の開催 市民の芸術活動の発表の場として、市内の2会場で美術展覧会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○出展内容：全6部門の作品 絵画・書・デザイン・彫刻・工芸・写真 ※特別展示として、中学生・高校生作品も展示 ○出品数：167点（特別展示作品も含む） ○会場：対馬市交流センター（前期） 上対馬総合センター（後期） ○来場者数：600人 <p>来場者に見やすい展示方法への変更など、実行委員会等において、事業の改善に取り組むことができた。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、積極的な広報活動ができなかったが、今年度は、市の公式LINEアカウント等での発信を行ったことで、来場者が前年度と比較して約100名増加し、文化芸術活動の発表の場として、よい機会を提供できたと評価できる。</p> <p>■各町文化祭の開催支援 各町文化協会等主催の文化展・文化祭（芸能発表会）の開催支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○開催日時 厳原町：11月 6日（日） 美津島町：11月 3日（木） 豊玉町：11月 5日（土）～ 6日（日） 峰町：10月29日（土）～30日（日） 上県町：11月 5日（土）～ 6日（日） 上対馬町：10月29日（土）～30日（日） ※上対馬町と上県町の文化発表会は10月30日（日）合同開催 <p>地域で活動する文化団体や芸術団体にとって、日頃の活動の成果を発表できる身近な事業として実施されており、今後も継続的な開催支援を行っていきたい。</p> <p>しかし、地域の担い手が減少している状況もある。今後も持続可能な事業とするため、文化祭の運営方法を継続して検討していきたい。</p>
			<p>(2) 本物の芸術・文化に触れる機会の提供</p> <p>■県補助金等を活用した事業の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○長崎県青少年劇場 開催日：11月7日（月）～8日（火） 会場：上対馬総合センター 対馬市公会堂、対馬市交流センター 内容：邦楽 世界に誇れる日本の音色 「ワヨウセイヨウ」 出演者：ジョン・海山・ネプチューン ほか3名 鑑賞者数：712人（3会場合計） <p>県の補助事業等を活用した事業を市内で開催することで、市民が本物の芸術・文化に触れる機会を提供できた。今後も県の助成等の有効活用し、市民の芸術・文化活動の活性化につなげていきたい。</p>

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
<p>◎一人一人が生きがいを持ち、地域づくりにつながる生涯学習の推進</p> <p>◎心身の健康と活力を育てるスポーツの振興</p> <p>◎お互いの心と命を思いやる人権教育の推進</p>	4	(2)本物の芸術・文化に触れる機会の提供	<p>■自主公演事業の開催 市が主催し、公演事業を開催した。</p> <p>【映画「祈り」上映会】 ○開催日：1月29日（日） ○会 場：対馬市交流センターイベントホール ○参加者：178名</p> <p>【宇宙飛行士「野口聡一」講演会】 ○開催日：2月19日（日） ○会 場：対馬市交流センターイベントホール ○参加者：484名</p> <hr/> <p>社会情勢等で市民の関心が高まっていると考えられる「平和」や「宇宙開発」をテーマに設定し、長崎を舞台とした平和を訴える映画の上映会や、宇宙飛行士の野口聡一氏の講演会を開催したことによって、例年よりも多い参加者を集めることができたと評価できる。 一方で、講演会の講話の内容については、参加者の年齢層やニーズなどとマッチしない部分があったと考えられる。今後は、参加者の状況等を把握し、講話のテーマや内容について、講師等との調整を綿密に行うことで、改善に努めたい。</p>
	5	(1)幅広いニーズに応じた公民館講座の開設 (2)対馬の文化・魅力を活かした公民館講座の開設	<p>■各地域の人材を活用した公民館講座（教室）の開催 各地域の人材等を活用した公民館講座を企画・開催した。 ○開催した公民館講座（全18講座）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨガ・絵画・健康・洋裁・料理・アナログシンセ入門 ・音楽療法・パッチワーク・対馬の民謡・お菓子づくり ・エコクラフト・二胡・箏曲・陶芸・布スリッパ・詩画 ・木工・姿勢改善 <hr/> <p>各地域の人材を活用した公民館講座を企画し、実施できたが、趣味的内容の講座に偏っていることが継続的な課題である。また、社会課題等を取り上げた講座の必要性を感じているものの、難しい内容の講座は受講者が集まりにくい状況である。 受講希望者と講座内容のバランスや、募集方法を十分検討した上で、新たな分野の講座を導入し、改善に努めたい。</p>

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
<p>◎一人一人が生きがいを持ち、地域づくりにつながる生涯学習の推進</p> <p>◎心身の健康と活力を育てるスポーツの振興</p> <p>◎お互いの心と命を思いやる人権教育の推進</p>	6 情報発信拠点としての図書館づくり	<p>(1) 図書館資料の充実</p> <p>(2) 市民の読書活動の推進</p>	<p>■ 図書資料の充実と効果的な啓発活動の実施</p> <p>明るく、親しみやすい施設として、市民が気軽に図書施設を利用できるよう次のような事業等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図書資料の購入 図書購入費 3,486 千円 購入冊数 2,588 冊（6 地区合計） （内訳：一般図書 1,281 冊、児童図書 1,307 冊） ○ 学校移動図書の実施 小学校 11 校、中学校 1 校へ年 3 回学校移動図書を実施した。 ○ 図書館まつりの実施 10 月第 3 土曜日を「つしま図書館の日」とし DVD の上映会や読み聞かせなどを実施した。 ○ あつまれおりがみプロジェクトの実施 子ども読書週間にあわせ、コロナの影響により読み聞かせ等の事業が開催困難だったため、折り紙を渡し、展示コーナーを作り、作品を飾った。 ○ つしま図書館の啓発活動 市報・CATV を活用し、図書館事業、新刊及び蔵書本等を紹介した。 <p>市民のニーズやトレンドなど、様々な要素を検討した上で、R3 よりも 400 冊多く図書等を購入することができたとともに、図書情報の積極的な発信ができた。</p> <p>また、「つしま図書館の日」を 10 月第 3 土曜日と決めて、周年事業として実施出来たので次年度以降も継続していきたい。</p> <p>今後の課題としては、各地区公民館図書や学校図書等の更新を計画的に行うとともに、事業も積極的に取り組んでいきたい。</p>
	7 生涯・競技スポーツの普及振興	<p>(1) 生涯スポーツの普及・振興のための啓発活動の実施</p>	<p>■ スポーツ推進委員等と連携した生涯スポーツの普及・啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツ大会・教室の開催実績 <ul style="list-style-type: none"> 厳原町：厳原フロアカーリング大会 ウォークラリー大会 美津島町：みつしま駅伝大会 みつしまフロアカーリング大会 上 県 町：雲仙アズマクロス体験教室 ○ スポーツ推進委員研修会 開催日：9 月 3 日（土） 会 場：美津島文化会館 他 内 容：各町の活動事例発表、各町の実践発表、講義 ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。 <p>コロナ禍の影響を受け、令和 3 年度に引き続き、計画どおりの活動ができなかった。しかしながら、開催できた大会や教室においては、多くの参加者があり、スポーツ活動の再開に向けた取り組みができたことは評価できる。</p> <p>今後は各町で実施する教室や大会など、スポーツ推進委員を中心に内容を検討し、スポーツ再開する市民の増加につながるような取り組みを充実させることが課題である。</p>

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
<p>◎一人一人が生きがいを持ち、地域づくりにつながる生涯学習の推進</p> <p>◎心身の健康と活力を育てるスポーツの振興</p> <p>◎お互いの心と命を思いやる人権教育の推進</p>	7 生涯・競技スポーツの普及振興	(2) 競技力向上のための支援の充実	<p>■スポーツ活動振興費補助金による活動支援</p> <p>○県大会等に参加する際の旅費補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生～高校生対象補助 実績額 21,033 千円 (275 件) ※子ども夢づくり基金を活用 ・大人対象補助 実績額 2,768 千円 (23 件)
			<p>新型コロナウイルス感染症の状況に対応して、大会等が開催されるようになり、令和3年度と比較して補助実績額(5,919 千円)も増加した。今後は補助金等の支出基準等も見直ししながら、継続的な支援を行っていききたい。</p>
			<p>■運営費等補助金の支給</p> <p>対馬市スポーツ協会への支援として、運営費・事業費の補助金を支給した。</p> <p>○補助総額：17,000 千円</p>
			<p>令和3年同様、コロナウイルス感染拡大の影響で一部実施できない事業があったが、協会への補助金の支給により、各競技団体等の活動の活性化や競技力向上に向けた取組を支援することができた。</p>
			<p>■各競技団体等と連携した事業の開催</p> <p>○対馬市スポーツ協会主催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対馬島民体育大会（陸上競技） 開催日：7月3日（日） ・対馬島民体育大会（球技・武道） ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 ・対馬縦断駅伝大会 開催日：12月18日（日） <p>スポーツに参加する機会が少ない市民が日頃の練習の成果を発揮できる場として大会を開催できた。ただし、球技・武道については3年連続での中止となり、令和5年度以降は通常実施できるようスポーツ協会とともに検討を進めていきたい。</p>
<p>■プロスポーツチーム等と連携した事業の開催</p> <p>○V・ファーレン長崎との連携事業</p> <p>事業名：対馬市サンクスマッチ 開催日：7月31日（土） 場 所：トランスコスモスタジアム（諫早市） 内 容：対馬市のPRブース出展、市長挨拶</p> <p>○オリンピックによるスポーツ教室</p> <p>講 師：高瀬 慧 氏</p> <p>【7月15日 講演会】 テーマ「夢に向かって－継続することの大切さ」 参加者：豊玉中学校・豊玉高校 生徒・職員162名</p> <p>【7月16日 かけっこ教室】 参加者：小・中学生54名</p> <p>V・ファーレン長崎との連携事業については、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、キックオフ前のセレモニーでの子どもたちによる市旗掲出は実施できず、プロサッカーの試合に関わる機会をつくることはできなかったが、V・ファーレン長崎との連携を深めることができ、今後の連携事業につながる取組となった。</p> <p>オリンピックによるスポーツ教室については、新規事業として実施し、スポーツの魅力などに気づく機会を作ることができ、スポーツ普及のための良い取り組みとなった。</p>			

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
<p>◎一人一人が生きがいを持ち、地域づくりにつながる生涯学習の推進</p> <p>◎心身の健康と活力を育てるスポーツの振興</p> <p>◎お互いの心と命を思いやる人権教育の推進</p>	7 生涯・競技スポーツの普及振興	(3) 体育施設の整備及び有効活用	<p>■市民が利用しやすい環境の整備 体育施設等の修繕や設備の更新など、施設の整備を行った。</p> <p>○施設等の修繕料：10,068千円 [主な内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厳原体育館高圧気中開閉器取替修繕 ・ 美津島総合公園水道管バルブ修繕 ・ 豊玉総合運動公園体育館駐車場照明灯修繕 ・ シャインドームみね浄化槽修繕 ・ 上県総合運動公園ナイター修繕 ・ 上対馬総合運動公園体育館扉修繕 <p>○維持補修工事費：14,753千円 [主な内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 豊玉総合運動公園テニスコート人工芝張替工事 <p>○備品購入費（機械器具）：978千円 [主な内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 峰総合運動公園陸上競技場備品の購入 (折りたたみテント) ・ 対馬市パークゴルフ場芝刈機の購入 ・ 佐須奈、豊玉テニスコートネットの購入 他
			<p>各町体育施設の老朽化により補修工事や修繕の必要な箇所が多数あるが、緊急性のあるものから対処した。</p> <p>更に、寒波により市内体育施設の水道管等の破裂が数カ所あったが、迅速な修繕を行った。</p> <p>備品については、使用に支障があった芝刈機の購入、また、陸上競技場のテントを、R3（7基）からR4（4基）で11基購入し、安全で快適に利用できる整備が行えた。</p>
			<p>■対馬市体育施設適正配置及び利活用推進委員会の設置と会議の開催</p> <p>様々な社会的変化に応じて、体育施設の在り方や利活用を推進するため、外部委員会を組織し、検討会議を開催した。</p> <p>○会議開催回数：6回 ○委員数：13名</p>
			<p>令和3年度に引き続き人口減少や生涯スポーツの普及、施設の老朽化等の様々な側面から、体育施設の今後の在り方についての意見交換をし、方針を定めるための会議を6度に渡り開催することが出来た。</p> <p>会議で検討した内容により、対馬市体育施設の適正配置及び利活用の推進に関する答申書を作成し、教育長への提出を行った。</p> <p>今後は、答申書に沿って協議、検討を行い体育施設の適正な配置及び利活用を行っていきたい。</p>

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
◎ 文化遺産の保護と活用の推進	1 指定文化財等の保存整備	(1) 史跡・名勝の整備推進	<p>指定文化財の保存整備について各種委員会を開催し、史跡名勝の適正な保存管理に努めた。</p> <p>① 対馬藩関連遺産群保存活用計画等検討委員会を開催し、整備基本計画を作成した。</p> <p>② お船江跡総合保全検討委員会を開催し、今後の保存整備計画について協議した。</p> <p>③ 越高遺跡調査検討委員会を開催し、国指定に向けての総括報告書の作成について協議した。</p> <p>④ 名勝旧金石城庭園の日常管理、植栽管理を行った。</p> <hr/> <p>○史跡等の保存に必要な事業を計画的に実施するとともに、有効活用のための措置を行った。</p> <p>○遺跡等の除草、清掃を実施し、適正な保全に努めた。</p>
		(2) 重要文化財等の適正な管理保存	<p>重要文化財について、保存整備・修復を行った。</p> <p>① 重要文化財 多久頭魂神社 高麗版一切経保存修理事業</p> <p>② 重要文化財 宗家文書修理事業 ・重要文化財対馬藩宗家関係資料修復事業に対する負担</p> <p>③ 市内収蔵庫管理運営 ・重要文化財銅造如来坐像収蔵庫（黒瀬）管理業務委託 ・檜根法清寺観音堂管理業務委託</p> <hr/> <p>○経典、文書の修復により将来の文化財活用に備えた。</p> <p>○文化財収蔵施設の補修等、適正な管理に努めた。</p>
	2 天然記念物の保護	(1) 天然記念物の適正な保存・保護	<p>新たに条件を満たした「対州馬」4頭を対馬市天然記念物に追加指定した。</p> <hr/> <p>関係する団体と連携しながら、天然記念物の保護に努めた。</p>
		(2) 関係団体等との連携強化	<p>天然記念物保護のため、関係団体運営のための補助金を交付するとともに、関係する各種会議へ出席した。</p> <p>① 対州馬に関わる各種調査や懇談会等を行い、対州馬保存会との連携を深めた。</p> <p>② 関係する会議への出席 ・対馬野生動物交通事故対策連絡会議、ネコ適正飼養推進連絡協議会出席</p> <hr/> <p>関係する団体との連携の維持に努めた。</p>

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
◎ 文化遺産の保護と活用の推進	3 市内遺跡の調査・保全	(1) 計画的な調査の推進	<p>① 棧原城跡の工事に伴う発掘調査を行った。</p> <p>② 埋蔵文化財センターの峰ヌルヘノクチ遺跡の発掘調査や大学の発掘調査等への支援を行った。</p> <hr/> <p>関係者と連携し計画的に調査を行い、今後の調査研究に寄与することができた。</p>
		(2) 適正な調査体制の確立	<p>① 市文化財保護審議会委員による警戒巡視実施</p> <p>② 市文化財巡視員による巡視</p> <p>③ 防犯対策施設設置団体との連携・協議</p> <p>④ 文化財保護ネットワーク関係者連絡会議の開催</p> <hr/> <p>様々な手法で防犯対策に取り組んでおり、継続して実施していくことに加え、常に新たな対策を検討していくことが重要である。</p>
		(3) 無許可開発行為等の防止対策	<p>電柱敷設、公共事業等に伴う発掘に際し、埋蔵文化財包蔵地等との確認立会を行った。</p> <hr/> <p>公共、民間による開発工事との調整を図り、文化財の破壊損傷を未然に防止することができた。</p>
	4 民俗文化財の調査・記録保存	(1) 有形民俗文化財の適正な管理・保管	<p>豊玉町郷土館、峰町歴史民俗資料館、上対馬町歴史民俗資料室の3既存施設の適正な管理に努めた。</p> <hr/> <p>郷土館・資料館の適正な維持管理に努めた。</p>
		(2) 無形民俗文化財の伝承保護、調査	<p>コロナ禍により、各団体が活動を制限される中、曲地区、三根上里地区の盆踊が規模を縮小して行われ、写真記録の保存を行った。</p> <hr/> <p>貴重な伝統芸能、伝統行事の後継者の確保、育成が難しい課題であるが、「風流踊」のユネスコ無形文化遺産への登録が決定し、明るい話題ができた。</p>
	5 文化財の活用	(1) 文化財PRイベントの実施	<p>国の文化財活用事業を利用して、シンポジウムや写真パネル展、遺跡のバスツアー、城下町散策などを行い、市民への文化財の周知に努めた。</p> <hr/> <p>コロナ禍の中ではあったが、多くの方に参加していただき、好評を得ることができた。</p>

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
◎ 文化遺産の保護と活用の推進	5 文化財の活用	(2)子どもたちの郷土学習への寄与	<p>学校をはじめとした教育機関、研究者等への資料提供、解説の協力を行った。</p> <p>① 文化財活用事業の一つとして、縄文遺跡に関する学習を継続して行った。</p> <p>② 発掘現場での遺跡発掘体験授業を行った。</p>
		(3)情報発信の強化	<p>子どもたちに、学校教育を通じて郷土の文化財について学び、理解を深めてもらうことができた。</p> <p>市報をはじめ、各種媒体を活用して文化財に関する情報の発信に努めたほか、文化財標識、案内板の補修更新に努めた。</p> <p>① 令和4年度から新たに、市報で「対馬発掘調査日誌」の掲載を始めた。</p> <p>② 市ホームページにおいて、指定文化財情報や、関連イベント周知情報を発信した。</p> <p>③ 各種マスコミ取材等に対応し、対馬の文化財の情報発信を行った。</p> <p>④ 老朽化により破損、汚損した文化財説明板等を順次更新した。</p> <p>○市報掲載や市ホームページにより、市民に対し防犯対策に対する理解や、より文化財を大事にすることへの啓発を図った。</p> <p>○市内文化財に関する情報を、多くの機会に多様な方法で発信することにより、対馬の文化財についての周知に努めた。</p>